

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikaga/nc2>

地学研修

12月7日(土)、15日(日)の2日間、栃木県立博物館の柏村勇二先生(足高OB)ご指導の下、地学分野の研修を行いました。

第一日目はバスに乗り、栃木県那須塩原市に分布する新第三系、第四系の地層観察を行うとともに、化石の採集を行いました。はじめに那須塩原市塩原地域の要害公園付近の路頭を観察しました。ここは塩原湖成層と呼ばれる約30万年前の湖に堆積した地層があり、木の葉や昆虫、魚などの化石が豊富に含まれています。地層観察後は付近にある木の葉化石園を見学し、実際に岩石を割って化石を採集しました。昼食後、午後は少しだけバスで移動し、関谷付近の新第三系の露頭数カ所を観察し、化石を採集しました。こちらは約1200万年前の地層で植物や貝の化石が多く含まれています。同じ時代でも、露頭によって化石が整っているところやバラバラになっている所があり、堆積環境の違いも確認することができました。



第二日目は校内にて、一日目に採集した化石のクリーニング及び同定を行うとともに、栃木県の地質や古生物学の基礎について講話をいただきました。クリーニングは、ハンマーやタガネの他に歯ブラシや尖った細長い金属など、様々な道具を用いて化石を丁寧に整えました。同定は専門の図鑑を用いて行いました。植物では葉脈の数や枝分かれのしかた、貝では筋の方向や本数などをもとに行いました。

2日間にわたり、大変収穫のある研修でした。

生徒感想

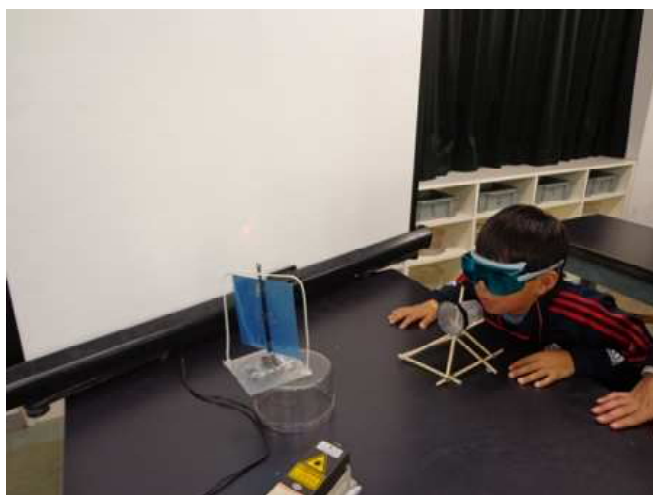
- ・機会があったらまたこのような研修に参加したい。
- ・自分がとった化石を見て何の種類か見分けるのは大変だったが、とても楽しく取り組めた。
- ・化石について知る良いきっかけとなった。普段できないことができた。
- ・講師の方が分かり易く説明してくれたので、内容を理解できた。

第5回 SSHオープン理科教室

12月6日（土）、本校を会場にして、SSHオープン理科教室が行われました。足利市内の小学3・4年生92人が参加し、科学部員やTA（ティーチングアシスタント）など34人の足高生と共に実験や観察を楽しみました。

○今回初めて登場した実験を紹介します○
音のもようを見よう

紙コップに向かって声を出すと、声のもようがスクリーンに映し出されます。声が模様として見えたときには歓声が上がりました。



にじをつくろう

虹ビーズを台紙に貼り付けます。日なたで太陽との角度をうまく合わせると虹が浮かんできます。



たたみかえ折り紙六角形

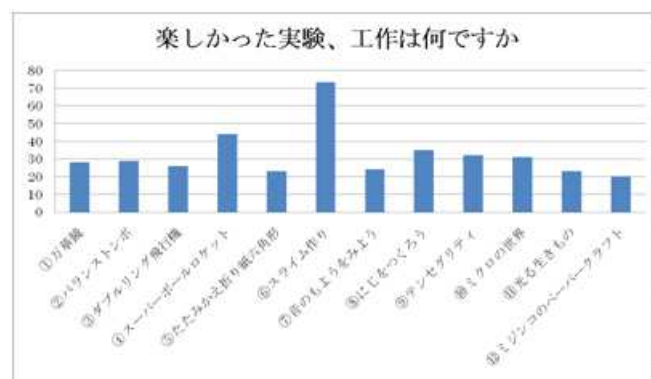
絵の印刷された紙を規則性に従って折っていくと完成です。完成した六角形をめくるように折り返していくと、卵がひよこに、ニワトリにと変わっていきます。



参加者の感想

- ・足利高校の人がとてもやさしく教えてくれた。
- ・わかりやすく教えてもらえてうれしかった。
- ・今日の理科は今までの理科よりすごくよかった。
- ・初めて見るものばかりあるし好きなものを作れるのでとても楽しかった。
- ・今回できなかったものを今度またやりたい。

アンケート結果



足高生の感想

- ・子どもたちに理科の楽しさを伝えられたと思うので、とても充実した時間になった
- ・教えることは楽しく、お礼を言われてとても嬉しかった。
- ・参加してくれた子の笑顔がたくさん見られたので良かった。
- ・小学生は覚えるのが早く、見習うべきものがあった
- ・小学校の先生になってみたいと思った。